

平成30年度における固定資産(土地)の提示平均価額について

平成30年度における固定資産税(土地)の提示平均価額について、大分県固定資産評価審議会の答申を参考のうえ、別紙のとおり算定しました。

1 提示平均価額の動向

(1) 宅地

最近の地価は、一部上昇している地域があるが、下落幅は縮小しているものの依然として下落傾向にあることに伴い、評価額の変更を行ったことから、大分市以外の市町村では減少しており、全市町村における対前年度比は0.993倍(▲0.7%)となっています。

(2) 田、畑

16団体において、評価額の見直しを行った結果、価額を据え置いたこと等から、全市町村における対前年比は次のとおりとなっています。

- ・ 田 : 0.999倍(▲0.1%)
- ・ 畑 : 0.994倍(▲0.6%)

(3) 山林

7団体において、不動産鑑定士を含めた精通者の意見を基に評価額の変更を行ったこと等から、全市町村における対前年度比は0.909倍(▲9.1%)となっています。

2 その他

(1) 固定資産税における評価額については、原則として3年毎に評価替えを行うこととされており、平成30年度がその年度にあたります。

このため、すべての土地について、評価額の見直しが行われています。

(2) 評価替え年度(平成30年度)における価格調査基準日は、原則前年度の1月1日(平成29年1月1日)とされていますが、宅地については、地価が下落し、かつ、課税上著しく均衡を失すると市町村長が認める場合は、評価額を修正(平成29年7月1日時点の地価)することができる特例措置が認められています。

(3) 市町村は、この提示平均価額を基準にして、3月末までに全ての土地の評価額を決定することとされています。

(4) 家屋の提示平均価額の算定については、平成24年度固定資産評価基準の改正により、当面の間のその取扱いが停止されています。

(別紙)

平成30年度における固定資産(土地)の提示平均価額(案)

市町村名	土 地			
	宅地 円/㎡	田 円/千㎡	畑 円/千㎡	山林 円/千㎡
1 大 分 市	24,103	92,628	30,499	19,409
2 別 府 市	27,276	73,191	32,902	24,339
3 中 津 市	9,892	103,421	37,698	15,506
4 日 田 市	11,211	101,927	38,277	13,175
5 佐 伯 市	10,616	103,243	31,538	11,281
6 臼 杵 市	10,255	100,486	35,006	15,194
7 津 久 見 市	11,621	32,824	44,155	17,147
8 竹 田 市	2,871	79,794	27,052	16,504
9 豊後高田市	3,659	95,614	28,013	12,481
10 杵 築 市	6,394	101,285	32,708	18,576
11 宇 佐 市	5,097	110,404	38,911	15,187
12 豊後大野市	3,756	94,252	34,154	15,780
13 由 布 市	9,476	88,047	29,678	21,887
14 国 東 市	3,510	108,465	31,892	19,364
15 姫 島 村	5,371	55,276	25,335	12,816
16 日 出 町	10,029	102,885	37,858	17,350
17 九 重 町	3,711	87,529	30,172	15,234
18 玖 珠 町	7,269	102,472	30,263	19,472

(注) 網掛けの提示平均価額は、既に指定市町村として総務大臣から通知を受けたもの。